

資料5

記者レクチャー資料
平成25年8月26日
上下水道部
Tel 22-6503

平成24年度 福知山市下水道事業決算概要

上下水道部総務課

1 概 況

下水道事業は、浸水対策、公衆衛生の確保、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全といった役割を担っており、本市公共下水道事業は昭和34年に事業認可を受け、以来約50年に亘り、鋭意施設の拡張整備に取り組んだ結果、平成22年7月には、本市計画に基づく基本的な汚水管渠の整備は完了しました。

現在では、拡張整備から本格的な維持管理へと事業の方向性も転換時期を迎えており、このような状況を踏まえ、本市公共下水道事業は、第4次行政改革大綱に基づき、平成24年4月1日より地方公営企業法の全部を適用するとともに、下水道部を廃止し、ガス水道部への組織統合を行いました。

法適用後初年度となる当年度末の水洗化戸数は28,072戸で、前年度末と比べ392戸の増となりました。有収水量は、前年度に比べ、7.8%増の11,395千 m^3 となりました。

設備関係については、厚中間屋町地内の浸水対策事業に取り組み、仲ノ坪北貯留施設築造工事を行いました。また、福知山終末処理場場内ポンプ場高圧受変電設備更新工事や和久市地内でのボックスカルバート更新工事など、管渠、ポンプ場、終末処理場の老朽化した各施設の更新工事を行いました。

収支の状況につきましては、収益が2,331,643千円、費用が2,368,852千円となり、当年度は37,209千円の純損失を計上することとなりました。

公共下水道事業においては、整備区域内の管渠整備がほぼ普及していることから、今後、水洗化戸数の大幅な増加も期待できない中で、老朽化した主要設備や管渠の本格的な更新時期を迎えており、財源の確保をはじめ経営を取り巻く環境は厳しい状況となっています。

このような状況の中、今後とも、より災害に強い安定した下水の処理が確保できるように、効率的で計画的な事業運営を図り、経営の健全化に努めてまいります。

2 前年度比較

(1) 業務量

事 項	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減	比 率
年度末水洗化人口(人)	64,163	63,185	978	101.5 %
年度末水洗化戸数(戸)	28,072	27,680	392	101.4
年間総処理水量(m ³)	17,591,810	19,395,760	△ 1,803,950	90.7
年間1か月平均総処理水量(m ³)	1,465,984	1,616,313	△ 150,329	90.7
年間有収水量(m ³)	11,395,151	10,575,028	820,123	107.8
年間1か月平均有収水量(m ³)	949,596	881,252	68,344	107.8
年間有収水量率(%)	64.8	54.5	10.3	

(2) 事業収入に関する事項

(単位:円)

事 項	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減	比 率
下水道使用料	1,442,872,153			
負担金	208,200,029			
その他営業収益	1,573,000			
営業外収益	678,998,138			
計	2,331,643,320			

(3) 事業費に関する事項

(単位:円)

事 項	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減	比 率
管渠費	61,617,480			
ポンプ場費	98,120,065			
処理場費	509,739,496			
業務費	110,753,477			
総係費	39,331,556			
減価償却費	1,105,834,838			
資産減耗費	2,153,278			
営業外費用	441,302,329			
計	2,368,852,519			

収 支 差 引	△ 37,209,199			
---------	--------------	--	--	--